

令和元年度 児童養護施設 福島愛育園 事業報告

1.基本方針の実施

国が進める「家庭的養護推進計画」に基づき、県は、平成31年度に新たな「福島県社会的養育推進計画」を示した。既存施設の小規模化の方向性には変わりはないものの、当園の定員は、平成28年度より77名を継続、維持している。

年度当初68名でスタートした在籍児童は、3月1日現在の74名が定員のピークとなった。高校及び短大を卒業した7名中の5名は、それぞれ県内に、1名は東京へ就職が決まり赴任した。中学校を卒業した13名は、12名が志望校に入学、うち5名が家庭引き取りとなった。8名は引き続き生活の場を施設に置きながら、新たな高校生活をスタートさせた。そうした中、本園から短大へ進学、この度卒業となり保育士として、本人が希望する県内の児童養護施設に赴任となった卒園生を輩出できたことは、本人のみならず職員、施設を挙げて喜ぶたい出来事であった。

さらに、当園独自の取り組みとして、平成27年度から始めた「生」と「性」に焦点を当てた養育・支援の取り組みは丸5年が経過した。「森の会」として実施、継続してきたことで、児童の健やかな成長と安心・安全の保たれた日常生活が維持されてきた。少しずつではあるものの、各児童への個別支援がより充実した形で提供することが確立されてきた。

そのような嬉しさの反面、年度末には、新型コロナウイルスの発生と感染防止の緊急措置として3月6日より学校が臨時休校となった。その為、卒業式等の大切な学校行事にも支障が出るなど、県内・国内のみならず、世界的なパニックは年度をまたぐ事となった。

理念

創設者瓜生イワ刀自が提唱する「仁慈隠惕」の精神を継承し、次世代を担う児童の育成をもって社会に貢献する。

三つの願い（目標とする子ども像）

1. 心身ともに元気な子
2. 感性の豊かな子
3. 瞳を輝かせ希望に満ちた夢の持てる子

五つの進め方（年次方針）

1. 「自ら住みたくなる家づくり」構想に努める
2. 情報を共有し、一体感の感じ取れるチームワークを築く
3. 地域と協働した養育の実践を図る
4. スカウト精神を持って生きる力を身につける
5. グループワーク及びケースワークの特性を生かした養育に努める

七つの心得（養育に臨む決意）

全国児童養護施設協議会「倫理綱領」を基軸とし、以下のように実践します

1. 「みとめて」、「ほめて」子どもの自己肯定感を高めるよう努めます
2. 「喜び」と「悲しみ」の共有・共感を実践し、互いに思いやる心を大切にします
3. 日本文化と四季の良さを子どもたちに伝え、子どもの「こころ」を育てます
4. 子どもの話に耳を傾け、わけへだてなく関わります
5. 食べることの大切さ、食べられることへの感謝の気持ち、生きる喜び、命の大切さを教えます
6. 子どもとの出会いを大切に、子どもの自律を促し自立心を育てます
7. 自己研鑽、余暇の充実を図り、子どもとともに心身の健康^{リフレッシュ}に努めます

入所児童の状況

初日在籍児童数

月 性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平 均
男	34	36	36	36	35	36	37	37	37	37	37	37	36
女	34	35	35	35	35	36	37	37	37	37	37	37	36
計	68	71	71	71	70	72	74	74	74	74	74	74	72

学年別（令和2年3月1日現在）

学年 性別	未 就 学	小 学 1	2	3	4	5	6	計	中 学 1	2	3	計	高 校 1	2	3	定 4	計	そ の 他	合 計
男	3	1	0	1	2	4	1	9	6	2	7	15	4	4	2	0	10	0	37
女	3	0	1	4	0	4	4	13	1	1	6	8	5	3	3	1	12	1	37
計	6	1	1	5	2	8	5	22	7	3	13	23	9	7	5	1	22	1	74

入所・退所児童の状況

（令和2年3月31日現在）

	前年度繰越	本年度入所	本年度退所	年度末人員		家庭引取り	就 職	その他
男	3 4	5	7	3 3		4	3	0
女	3 4	2	6	3 1		2	4	0
計	6 8	9	1 3	6 4		6	7	1 3

令和元年度 入所・退所児童の状況

入 所				退 所			
			理 由			理 由	
4 月	7 26	中 1 男子 小 3 女子 小 4 男子	身体的虐待 心理的虐待 母親精神疾患				
5 月							
6 月							
7 月				31	中卒男子	就職	
8 月	19 22	中 3 男子 中 3 女子	措置変更 〃				
9 月	30	5 歳男児	身体的虐待				
1 0 月	1	小 5 女子	ネグレクト				
1 1 月							
1 2 月							
1 月							
2 月							
3 月	27 31	5 歳男児 中 1 男子	措置変更 措置変更	14 17 18 20 22 23 27 29 29 30 31 31	6 歳男児 短大卒女子 中卒女子 中卒男子 高卒女子 中卒男子 高卒男子 中卒女子 中卒男子 高卒女子 高卒女子 高卒男子	家庭復帰 就職 家庭復帰 家庭復帰 就職 家庭復帰 就職 家庭復帰 家庭復帰 就職 就職 就職	
合 計		男 6 女 3 9		男 7 女 6 13			

入所理由別入所児童数

区分	父母の死亡	父母の行方不明	父母の離婚	父母の不和	父母の拘禁	父母の入院	父母の就労	父母の精神障害	父母の虐待				棄児	父母の養育拒否	破産等の経済的理由	児童の問題 監護困難	その他	合計
									ネグレクト	心理的虐待	身体的虐待	性的虐待						
男								1			2						3	6
女									1	1							1	3
計								1	1	1	2						4	9

障害等の状況

	障害の状況								発達障害の状況						
	身体障害					知的障害	精神障害	小計	広汎性発達障害			LD	ADHD	その他	小計
	視覚	聴覚又は平衡障害	音声機能言語機能	肢体不自由	心臓等内臓機能				自閉症	アスペルガ 症候群	その他				
人数						1		1		2			3		5

	疾患等の状況							被虐待の状況		
	アトピー等皮膚疾患	喘息等呼吸疾患	病弱虚弱	てんかん	アレルギー	その他医療的ケア必要	小計	入所時被虐待児と判断	入所後被虐待児と判断	小計
人2					1	2	3	8		8

幼稚園入園・小・中・高校入学児童の状況

平成31年 4月10日

	入 園・入 学	男	女	合 計
幼稚園	三 育 幼 稚 園	1	1	2
小学校	蓬 萊 小 学 校	1		1
	渡 利 小 学 校			
	森 合 小 学 校			
中学校	蓬 萊 中 学 校	5	1	7
	渡 利 中 学 校			
	第 四 中 学 校	1		
高等学校	福 島 明 成 高 校	2	2	9
	福 島 東 高 校	1		
	福 島 北 高 校		1	
	安 達 高 校		1	
	二本松工業高校	1		
	福島養護学校高等部		1	

令和元年度 卒業児童の進路状況

<短大、高校>

令和 2 年 3 月 31 日

	児 童		卒業校	
1	S	女	桜の聖母短大	就職：児童養護施設 白河学園
2	I		福島中央高等学校	就職：レパコ
3	H		福島西高等学校	就職：ホテルニューオータニ
4	Y		福島明成高等学校	就職：柏洋硝子
5	I		福島北高等学校	進学：福島県高等理容美容学院
6	I	男	福島養護学校高等部	就職：いちい蓬莱店 グループホーム入寮
7	M		福島養護学校高等部	就職：イトーヨーカドー グループホーム入寮

<中学校>

	児 童		入 学 校	
1	S	女	福島明成高等学校 食品流通	
2	S		福島北高等学校 総合学科	
3	T		相馬農業高等学校 食品化学	家庭復帰
4	S		川俣高等学校	家庭復帰
5	Y		本宮高等学校	
6	F			措置変更
7	S	男	石川高等学校	家庭復帰
8	S		福島商業高等学校 会計ビジネス	
9	N		福島中央高校（定時制）	家庭復帰
10	Y		郡山商業高等学校 流通経済科	家庭復帰
11	Y		福島養護学校高等部	
12	Y		福島明成高等学校 環境土木	
13	H		橘高等学校	

